

# NONCRA®Eスーパー強化目地処理工法 PAT

内部塗装・クロス・珪藻土仕上 プラスターボードGL工法

平成25年6月1日

技術相談窓口 株式会社ライトビームシステム技術センター

TEL03-5346-2120 Fax03-5346-2127 携帯TEL 090-4518-1395

☛施工条件:PB GL工法 目透かし貼 誘発目地幅 1mm

## STEP 1. PB GL工法 目透かし貼 継目開き巾許容値 1m/m~2mm程度

継目下地不陸調整“NONCRA®C仕上パテ”塗りごき 塗幅:90~120mm 乾燥時間:3時間以上確保

特長:粒子が微細・付着強さ2倍以上・ヤセ極小・不陸調整ピンク識別・易しい。

☛注意 意・ノンペーパー:ペーパー掛けすると、テープの付着力を低減するので禁止!

## STEP 2. テープ貼着

幅:60~70mm 短毛ミニローラー使用

1回目:テープ接着 “NONCRA®テーププライマー”塗布

☛注意 意・プライマー塗りの手抜きは、後日テープがはがれたり、耳にひび割れが入る恐れあり!

2回目:テープ貼着部通り出し“墨出し” ~ テープ“NONCRA®Eスーパー”貼着

仮貼~離けい紙剥離後~フィルム押え用ヘラでテープ両耳しごき押圧2回しごき貼着

“ステンレス鋼帯入りテープの上手な貼り方”参照

☛警告 告テープステンレス鋼帯耳浮き部分駄目回り:ステンレス鋼帯12.5mm幅をLカッターで切断し、エアタッカ留付!

エアタッカをステンレス帯板両耳すべて約5cm間隔以内で留付を行えば、ボードが破損するまでより確実!

☛注意 意・テープ接着面の湿り気・凸凹粗面・粉吹きは、テープが付着しないで剥がれる!

・テープ接着面の表面強度が弱いと、挙動時テープがパテを引き起こし剥がれる!

・墨出ししないと、テープが蛇行して貼着後、ステンレス鋼帯に“たるみ・歪”が生じてしまう!

## STEP 3. テープ接着

テープ上“NONCRA®弾性エポキシ”しごき取り乾燥後 ~ “NONCRA®エポコート”塗布

1回目: “NONCRA®弾性エポキシ”塗完全ヘラしごき取り 塗幅:60mm 乾燥硬化:夏4時間、冬1日以上確保

2液反応速硬化、弾性引張伸び率110%、はじき皆無

☛警告 告・エポキシ樹脂の硬化前に次工程に移るな!乾燥跡パテ・塗膜仕上面にカメノコ状亀裂が入ってしまう!

2回目: “NONCRA®エポコート”塗 短毛2インチローラー塗 塗幅:100~120mm 乾燥:3時間以上確保

2液型専用塗料:テープの吸込みムラ防止とテープ接着力強化並びにテープ網目のFRP化

☛注意 意・塗料のミミ出し禁止!

・仕上塗膜にテープのステンレス色がすすけて見える場合“NONCRA®エポコート”2回塗

## STEP 4. NONCRA®C仕上パテ塗 塗幅:150~180mm 乾燥時間3時間以上確保

パテ仕上形状 塗付標準厚:0.15~0.2mm \ 0

☛注意 意・テープが見える程度の薄付けしごき。厚塗りすると、挙動時テープのパテにヒビが出る!

## STEP 5. サンディング :塗り継ぎ部当てペーパー掛け程度 適時#240~320ペーパー選定使用

☛注意 意・クロス貼の場合、糊付きの良いクロス用パテ使用のこと

~ 仕上塗装・クロス貼 ~ 完了

## アドバイス

・テープの完全接着と仕上パテのカメノコ割れ防止のため、弾性エポキシの乾燥時間厳守と確認がポイントです。

・パテは割れる。パテの薄付けしごき仕上げに努めましょう。

・溶剤系塗料の場合、テープの粘着剤が犯される。テープ上のエポキシ塗布の手抜きは絶対禁止。